

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年 3月 15日

事業所名 放課後等デイサービス アシストプラザ

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		日々児童の利用状況の中で児童の状態を確認して部屋を変え支援を行っている。
	2	職員の配置数は適切である	4		発達障害及び強度行動障害、虐待研修等必要な研修を受けている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		一部設置している。(スロープ) 玄関等の段差解消を工夫している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	1	日々ミーティングを行って、業務改善を実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		実施後、職員ミーティングを設けて、保護者等の意思、業務改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		自己評価結果を必ず公開し、定期的に事業計画等公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		今のところ出す事例はないが、定期的に現状等を伝達している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	研修機会のある時は、必ず代表を決め、出席をしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		保護者間との連絡を密にして、意見等を踏まえて計画を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		子供の現状を職員間で共有し、その中でアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		担当を決め、ミーティングをしながら、改善し立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		幅広い活動ができるように立案して日々チェックをしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		毎月お便り(計画等)を発行し、活動等を知らせ、ホームページ、facebook、ブログに掲載している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		担当を決め、改善等、細かに話し合い計画を立てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		支援内容を共有し、役割分担を心掛けている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		情報共有や、共通理解に努めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		児童の不適切な行動、支援での困り感などヒヤリハットを用いて検証、改善に努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		定期的に行っている、モニタリングの必要性がある場合、その都度会議行い見直しを立てて判断できるようにしている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5		心掛けている。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			児童発達支援管理責任者参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			電話連絡や送迎時に情報共有している。近年、コロナ禍の中では、オンラインをフルに活用している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5			食事療法、発作、排尿等を持つ児童に関しては、保護者と連絡を取っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			担当者会議で情報を共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			担当者会議や引継ぎシートを用いて情報の提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			必要な場合に情報や助言、研修を受けている。(研修案内等で参加している)
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1		コロナ禍で自粛している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3			必要に応じて参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			定期的に電話や送迎時等で共有を図っている。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2			必要に応じて相談員とともに支援を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時に文章を用いて、丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			送迎時等で相談していることなど定期的に伺い、助言や支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2		コロナ禍のため、計画していない。時間のタイミング等があるので計画を立てるのが難しい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			迅速に適切に丁寧に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1		毎月定期的に行事予定表を作成し、日々の活動内容や注意事項連絡等を記載して発信している。
	35	個人情報に十分注意している	5			職員間で十分に共有し、注意をしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1		連絡帳や電話送迎時等で情報伝達を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		コロナ禍でできない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		文章等で今後保護者に、周知、説明していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		避難訓練を定期的に行っている。(年に二回は必ず実施している)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		研修等ある場合は必ず担当者を決め、その都度、研修報告を行い共有し合い、対応できる様にしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		身体拘束は現状する必要がないため行っていないが、今後必要に応じて計画を記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		文章等を用いていつでもわかるように表示し対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		ヒヤリハットが必要な場合は、直ちに記載し会議等で共有している。